

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー		
MC2L1N25 MC2L1N29 MC2L1N80 MC3L1N31 文化芸術論 I～IV	各学科長 他	オムニバス	1 単位	音楽学科・こども学科	前期～後期	必修				BC		
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画											
数多くの芸術作品を鑑賞することを通して、感受したことや気付いたことを自分の学びに生かす。 一流の芸術家、社会で活躍している先輩、企業人などの生き方から、自分の将来像を見直し、キャリアアップや進路選択に生かす。 地域の文化や歴史について知ることやボランティア活動などを通して、思いやり、判断力、実行力などの人間力を高める。	学修内容			学修内容								
音楽の探究	【音楽の神髄に迫る】 A 外部団体・客員教授による演奏会 例：出田りあ&村治佳織デュオコンサート など B 学内演奏・全学及び各コースによる演奏会 例：教員コンサート プラスオーケストラ演奏会 各コースコンサート こども学科 ミュージックフェスティバルなど			【自分の特性を知る】 (体・能力・感性・意欲) A 客員教授による公開レッスン 例：出田りあ客員教授 マリンバ公開レッスン など B 客員教授・特別講師による講座 例：大石 泰客員教授による メディア音楽論講座など								
授業の概要	一流の演奏や舞台、地域探訪や社会奉仕活動などを体験することによって、音楽家、教育者、社会人としての態度や精神を修得するための教養講座である。 ※授業計画は過年度の内容を例示している。 ※具体的なプログラムはオリエンテーション時に配布する。			【音楽以外の文化にふれ、知見を広げる】 A 舞台芸術（演劇、ミュージカル、映画等） 例：劇団四季ミュージカル など B 日本文化の担い手による講演・演習 例：出田秀尚客員教授による日本の伝統文化講座 講師招聘による講演 など C 地域の文化歴史講座 例：御船の史跡と芸能			【自己と社会との関わりを深め、自分の将来を考える】 A 教育支援・社会支援などのボランティア活動 例：舞台やメディア、イベントへのボランティア活動 派遣及び依頼演奏 学習支援活動 部活動支援指導 など B キャリア講座 例：外部講師によるマイナビ講座				社会の探究	
教科書・テキスト等	成績評価基準			評価方法	割合(%)	評価のポイント						
				ミニレポート・活動報告	50%	内容理解、活動の充実、学びを生かす考え						
				鑑賞及び出演の状況	50%	鑑賞態度、積極性						
参考書・参考資料等												

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
フレッシュマン・ゼミ	各学科長 他	オムニバス	1 単位	音楽学科・こども学科 1年次	前期	必修				ABC
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
大学の学びに必要な基礎的な能力を身に付けることができる。ディスカッションなどに積極的に参加し、円滑なコミュニケーション基礎能力を身に付けることができる。 授業を通して音楽大学生としての心構えや自己の適性・個性を深く知り、キャリア形成につなぐ力を身に付けることができる。	学修内容			学修内容						
音楽の探究	【大学の学びに必要な力】 ○大学生とは 平成音楽大学とはこんなところ ・3つのポリシー ○大学における学び ・レポートの書き方 ・情報モラルと著作権 ・学びを広げ深める図書館			【主体的な学びに必要な力】 ○大事なマネー学 ・将来必要な金銭感覚 ・今から知っておきたいお金のこと ○御船町を知ろう ・御船町はどんなところ？ ・御船町の歴史や文化を知る						
授業の概要	【学生同士の円滑な人間関係づくりに必要な力】 ○磨こう 人権感覚 ・様々なハラスメント ・人としてのマナー ○私を語る ・人生を豊かにする音楽			【目標に向かってすすむ力】 ○ようこそ先輩 ・卒業生からの話を聞く (音楽学科、こども学科) ○私の将来像を描こう ・自分の目標を立てる						
教科書・テキスト等	成績評価基準			評価方法	割合(%)	評価のポイント				
				ミニ・レポート(感想文)	50%	講座内容の理解、自分の考え				
				参加態度	50%	積極性、協調性				
参考書・参考資料等										

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C05 法学（日本国憲法）	岩下 栄一	単独	2単位	音楽学科・こども学科 1年次	前期	選択	必修	必修	選択必修	ADEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
現代社会と憲法の関わり合いへの理解を深め、今日に生きる者としての常識と自覚を高める。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	法とは何か 法と社会規範（法の目的、法の解釈について学ぶ）	シラバスを熟読する	レジュメをまとめ、振り返る	9	社会権の基本権（生存権、教育を受ける権利、労働三権について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る		
	2	成文法と不文法（法の歴史、法の分類について学ぶ）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	10	参政権の基本権、請求権の基本権（請願権、国家補償について学ぶ）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る		
	3	基本法としての憲法とは何か（硬性憲法と軟性憲法、憲法特質について学ぶ）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	11	国民の義務（教育、勤労、納税、裁判員）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る		
	4	日本国憲法の基本原理（大日本帝国憲法から日本国憲法へ、憲法前文の精神について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	12	国会、内閣（国会、衆参両院の権能など、議員内閣制、内閣の組織と権能について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る		
授業の概要										
まず法とは何か、その発展過程をたどり、私たちの社会の規範についての思いを深める。次に、国家の基本法である憲法の歴史を紐解き、その上で日本国憲法の成り立ちやその精神を明らかにし、基本原理すなわち国民主権、基本的人権、国際平和について論じる。	5	国民主権と天皇（国民主権主義の意義と憲法としての天皇の地位と権能について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	13	法の支配と司法権（裁判所の構成、裁判官の地位、違憲立法審査権について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る		
	6	国際平和と戦争放棄（平和憲法の持つ意味、9条をめぐる議論について）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	14	地方自治（地方自治の原則、住民の権利）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る		
	7	基本的人権と法の下での平等（基本的人権とは何か、人権の歴史、法の下での平等）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る	15	まとめ（日本国憲法について学んだ事の総復習）	これまでの総復習	日本国憲法について理解を深める		
	8	自由権の基本権（精神の自由、身体の自由、経済の自由などについて）	新聞の政治欄を読み、関心を持つ	レジュメをまとめ、振り返る						
教科書・テキスト等	毎回、レジュメを配布する。	成績評価基準		評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等		期末試験 課題/レポート		70%	内容の理解度 レポートの内容、課題への取り組み					
		平常点(態度・行動観察)		15%	学びへの意欲、受講態度など					

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3T12 社会福祉論	岡村 ゆかり	単独	2単位	音楽学科・こども学科 2年次	前期	選択		必修	選択必修	ADEF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解することができる。 2. 社会福祉の制度や実施体系等について理解することができる。 3. 社会福祉における相談援助について理解することができる。 4. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解することができる。 5. 社会福祉の動向と課題について理解することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	社会福祉の理念と歴史の変遷	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	9	相談援助の方法と技術	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する		
	2	子ども家庭支援と社会福祉	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	10	社会福祉における利用者の保護にかかわるしくみ	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する		
	3	社会福祉の制度と法体系	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	11	少子高齢化社会における子育て支援	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する		
	4	社会福祉行政と実施機関、社会福祉施設等 社会福祉の専門職	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	12	共生社会の実現と障害者施策	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する		
授業の概要										
この科目では、社会福祉の考え方やしくみを学びます。講義では、身近な暮らしにおける事例を取り上げたり、諸外国との比較や行ったりします。また、子どもや子育て家庭に携わる専門職（保育士等）に必要とされる相談援助（ソーシャルワーク）の理論や方法等についても学びます。その理解を深めるために、ミニ演習を行うことがあります。基本的にはテキストを使用しますが、必要に応じて視聴覚教材を用いることがあります。	5	社会保障および関連制度の概要	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	13	在宅福祉・地域福祉の推進	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する		
	6	相談援助の理論	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	14	諸外国の社会福祉の動向	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する		
	7	相談援助の意義と機能	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する	15	まとめ（試験）	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する		
	8	相談援助の対象と過程	テキストを一読しておく	わからなかった言葉、関心を持った事柄を整理する						
教科書・テキスト等	『新・基本保育シリーズ④ 社会福祉』中央法規（2019年）	成績評価基準		評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	適宜配布する	期末試験 平常点(態度・行動観察)		80%	理解の程度 参加態度					
				20%						

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C15 医学概論	齋藤 考由	単独	2単位	音楽学科・こども学科 1, 2年次	後期	選択			選択必修	ABC
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
現在「医学」と呼称されているヒトの営み全般について検討することを課題とする。まず、西洋医学の考え方を整理する。ついで、それと対峙する考え方を持つインドや中国の「東洋」医学の考え方を学ぶ。さらに、通常「代替医学」と位置付けられている各種の「治療」や「療法」の意味についても検討し、中でも「音楽療法」の位置づけを考える。上記の知識を整理し理解することを通して、人間の健康と音楽のあり方を考察することを目標とする。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	西洋医学の源流 1	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	9	東洋医学 3(中国・経絡と鍼灸)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□		
	2	西洋医学の源流 2	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	10	代替療法 1(ホメオパシー)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□		
	3	西洋医学と錬金術	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	11	代替療法 2(氣功)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□		
	4	西洋医学と化学(アラビア医学)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	12	代替療法 3(カイロプラクティック)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□		
授業の概要	ヒポクラテス学派に始まる西洋医学の歴史と考え方を整理する。次に、インドや中国における医学の概念と治療法について触れる。さらに、ホメオパシー、カイロプラクティック、氣功などの考え方、心理(精神)療法とさまざまな「芸術療法」とりわけ「音楽療法」といわれる「正統医学」の関係性についても詳述していく。									
	5	西洋医学における「実証科学的思考」	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	13	代替療法 4(芸術療法)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□		
	6	西洋医学における「統計とエビデンス」	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	14	代替療法 5(音楽療法 1)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□		
	7	東洋医学 1(インド・ヴェーダ)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	15	代替療法 6(音楽療法 2) まとめ	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。□		
	8	東洋医学 2(中国・漢方医学)	講師から渡された講義資料の熟読	質問や意見をその日の内に書き留め提出。	備考					
教科書・テキスト等	講師が資料を用意します。		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	講義中に随時紹介していきます。			期末の筆記テストによる	100%	知的な整理と自らの事として考察すること				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3T01 豊かな言葉 I	福山 範夫	単独	2単位	音楽学科・こども学科 1年次	前期	選択			選択必修	ACE
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
日々接する言葉の情報に関心をもち、自らの言語生活を振り返ることができることも、言葉への関心を高める。より正しくより適切な言葉とはどのような言葉か、正しく理解し、深く分かるとはどういうことか。どうすればそうできるのか。このような学びを通して、自らの言葉をさらに豊かにしていく力を身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	言葉に関心をもち、知っているつもり・気づきにくい間違い	言葉について心を持ったことを想起する	読み方の根拠となった知識を整理する	9	物語を読む① ・叙述に即した読み ・主題の把握	物語を読んで、自分なりの感想を持つ	作品の主題について、自分なりの考えを書く		
	2	ちょっと気になる言葉遣い① ・ら抜き言葉 ・さ入れ言葉 レタス言葉	「ら抜き言葉」を使った経験を集める	「ら抜き」「さ入れ」言葉について整理する	10	物語を読む② ・もの見方や考え方 ・読みの交流	物語を読んで、作品の主題について考える	読みの交流を踏まえ、自分なりの考えを書く		
	3	ちょっと気になる言葉遣い② ・断定と敬語 ・丁寧すぎる表現	批判されがちな若者の言葉の事例を集める	曖昧な表現、過重な敬語について整理する	11	社説を読む① ・事実 感想 主張 ・構成 事例 工夫	社説の資料を読み、自分なりの考えを持つ	主張を正しく捉え、自分なりの読み方について整理する		
	4	敬語を使いこなす① ・敬意と敬語 ・相手や対象との関係	敬語について既知を知っていることを想起する	敬語について新たに知ったことを整理する	12	社説をよむ② ・共感的に読む ・批判的に読む	社説の資料を読み、自分なりの考えを持つ	意見文や論説文の読み方について整理する		
授業の概要	言葉について考え、自らの言葉を豊かにしていくような言語生活者でありたい。そのために、授業では、日常生活の中で接し、当たり前に使っている言葉について関心をもち、少し立ち止まって考えるとともに、自分の言語生活を振り返る。言葉の正しさ、敬語の適切な使用、深く正しく読みなどについて考え、実践できるようにしていく。									
	5	敬語を使いこなす② ・尊敬 謙譲 丁寧 美化 ・敬語使用の実際	迷ったり間違ったりしやすい敬語を想起する	普段使う敬語を5分間の観点から整理する	13	書評を書く① ・書評を読む ・書評に学ぶ	自分の好きな本について発表する準備をする	書評の対象の本を読み、伝えた内容を持つ		
	6	言葉の正しさ① ・言葉の乱れと揺れ ・正しさを決めるもの	乱れていると思う言葉の事例を集める	言葉の乱れと揺れの事例を整理する	14	書評を書く② ・伝えたいことが書けたか ・書いたことが伝わったか	書評の対象の本を読み、書評を書く	他の書評を読んで学んだことを整理する		
	7	言葉の正しさ② ・より正しい言葉 ・より適切な言葉	言葉の正しさについて自分の考えを持つ	言葉の正しさや適切さについて整理する	15	豊かな言語生活 ・豊かな言葉と心 ・言葉を育て磨く	学修内容を想起し豊かな言葉について考える	豊かな言語生活について考えをまとめる		
	8	言葉への関心をもち続ける ・言葉に気づく ・言語感覚を磨く 正誤 適否 美醜	気になる言葉への気づきの事例を集める	言語感覚を磨く自分なりの方法を考える						
教科書・テキスト等	学修内容に応じて、資料を配付する。		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。			試験・レポート	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え				
				課題への取組	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況				
				平常点	20%	意見交流への前向きな参加態度				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3T02 豊かな言葉 II	榎山 範夫	単独	2単位	音楽学科・こども学科 1年次	後期	選択			選択必修	ACE
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
伝えようとする相手・目的・状況に応じて、どのような方法で表現するのかについて考え、理解し、実践し、そのことについて自分なりに評価できる。効果的な表現についての一般的な方法を知るとともに、自分なりの個性的で印象的な表現をすることの価値について認識し、表現の工夫をすることができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	よい話し方 ・ “よい話し方”とは ・ 相手 目的 状況 方法 評価	“よい話し方”についての考えをまとめる	“よい話し方”とは何かを整理する	9	パネルディスカッション① ・ 確かな根拠 ・ 論理の組み立て	いろいろな議論の方法について調べる。	主張を裏付けるデータを集めて整理する。		
	2	自己紹介 ・ 定型と破格 ・ 個性的に 印象的に	自己紹介で話すことについて準備する	場の状況に応じた話し方について整理する	10	パネルディスカッション② ・ 的確な質問 効果的な反論 ・ 実践 討論	討論で主張する内容について準備する	討論を自分なりに評価して整理する		
	3	スピーチ① ・ 魅力あるスピーチ ・ 書くことと話すこと	これまで経験したスピーチについて想起する	書くことと話すことの違いについて整理する	11	整理して書く ・ 思いつままではなく ・ 書く まとめる 並べる	整理して書くために必要なことを考える	学びを踏まえ、課題について整理して書く		
	4	スピーチ② ・ 読むことと話すこと ・ 実践 スピーチ	スピーチで話す内容について準備する	スピーチを自分なりに評価して整理する	12	くわしく書く ・ 目に浮かぶ描写 ・ 筋が分かる説明	くわしく書くために必要なことを考える	学びを踏まえ、課題についてくわしく書く		
授業の概要										
豊かな言語生活を送るためには、他者とのコミュニケーションを豊かにすることが不可欠である。授業では、スピーチ、インタビュー、対談、討論などの話すことや聞くこと、整理し、くわしく、つなげて、論理的に書くことを中心に、よりよく表現することの実際について学ぶ。	5	インタビュー① ・ 自分が聞きたいこと ・ 相手が話したいこと	これまで経験したインタビューについて想起する	インタビューするべき内容について整理する	13	つなげて書く ・ どんなつながりなのか ・ どのようにつなげるのか	つなげて書くために必要なことを考える	学びを踏まえ、課題についてつなげて書く		
	6	インタビュー② ・ 引き出す 語らせる ・ 実践 インタビュー	インタビューで聞くことについて準備する	インタビューを自分なりに評価して整理する	14	論理的に書く ・ 事実 推測 意見 ・ 根拠 理由 主張	論理的に書くために必要なことを考える	学びを踏まえ、課題について論理的に書く		
	7	対談① ・ 話題の焦点化 ・ エピソードに語らせる	インタビューと対談の共通点と相違点について考える	対談のテーマに関するエピソードを整理する	15	感想を書く ・ 自分なればこそその内容 ・ 感想を交流しての学び	学修内容を想起し、感想を書くことを準備する	感想交流を通して学んだことを書く		
	8	対談② ・ 聞き手を意識し創造する対話 ・ 実践 対談	対談で話すことについて準備する	対談を自分なりに評価して整理する						
教科書・テキスト等	学修内容に応じて、資料を配付する。			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	適宜、資料を配付する。				試験・レポート 課題への取組	50%	理解の確かさ・認識の深さ・独自の考え			
					平常点	30%	事前準備・意見発表・事後整理の状況			
						20%	意見交流への前向きな参加態度			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1L2C07 教育学 I	藤田 泉	単独	2単位	こども学科 1年次	後期	選択			選択必修	ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
子どもが生まれてから思春期までに体験する様々な学びの経験について具体例を通して知り、その教育的意義と今後の課題について考え、話し合い、大まかに理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	この授業での学び方を理解する(ガイダンス)。教養科目としての教育学を学ぶ目的を知る。	シラバスを読む。	教養科目としての教育学を学ぶ目的を整理する。	9	子どもは自然から何を学ぶか、考える。	現住所周辺の身近な里山を探し写真を撮る。	野外体験の教育的意義と野外教育の具体例を整理する		
	2	人の一生と学びについて考える。AI時代における生涯学習と教育の課題について、考える。	AI時代に子どもが身につけるべき能力を調べる。	AI時代の生涯学習と教育の課題について整理する。	10	生きる力を育む場としての、冒険遊び場の取り組みについて学ぶ。	身近にある冒険遊び場の例を調べる。	調べた冒険遊び場に行き子どもを観察する。		
	3	他の動物との比較において人間の子育ての特徴を知る。	チンパンジーと人間の子育ての違いを調べる。	人間の子育ての特徴を整理する。	11	防災教育について学ぶ。	住所周辺の過去の自然災害について調べる。	自然災害からの避難やケガ防止のための準備をする。		
	4	日本の家庭の子育ての現状と今後の課題を学ぶ。	「孤育て」とよばれる日本の家庭の現状を調べる。	脱「孤育て」のために社会ができることを整理する。	12	食育について考える。	映画『弁当の公式ウェットサイト』を見感想を書く。	食育の意義を整理し自分の食生活を見直してみる。		
授業の概要										
人間にとって教育が果たす役割について具体的に知り考えることを目的とする。教育が学校だけでなく家庭、地域、社会における様々な、もの・自然を介して行われることを知り、人を教える立場(教師・職場の先輩・親)になった時に考える力となる教育学の基礎知識や考え方を修得することをめざす。この「教育学I」では、主として乳幼児期から思春期までの教育に関するテーマを取り扱う。適宜VTRを視聴する。	5	ヒト科の他の動物とヒトとの違いを知り、ヒトがヒトらしい能力を発達させるために望ましい育ち方について学ぶ。	ヒト科の他の動物と比較した際のヒトの特徴を調べる。	ヒトがヒトらしく育つために必要なことを整理する。	13	安全教育(防犯、事故防止)について学ぶ。	子どもが遭遇しやすい犯罪や事故について調べる。	危険回避のための環境構成と訓練について整理する。		
	6	子守唄とわらべうたの教育的意義を学ぶ。	子守唄とわらべうたの教育的意義について調べる。	子守唄とわらべうたの教育的意義について整理する。	14	特別支援教育とは何か、及び、障がいを持って豊かに生きられる社会をつくる試みについて学ぶ。	ねむの木学園の特別支援教育について調べる。	障がい者が豊かに生きられる社会の条件を整理する。		
	7	すばなし、紙芝居、絵本、児童書など児童文化の教育的意義を学ぶ。	昔話、絵本、児童書から一つ選びその紹介文を書く。	口承文芸とそれ以外の児童文化の違いを整理する。	15	第1回～第14回の授業内容についてまとめと意見交換をし(30分)、筆記試験を受ける(60分)。	第1回～第14回の授業内容の復習をする。	全15回の学びをまとめと意見交換をし(30分)、筆記試験を受ける(60分)。		
	8	子どもの運動能力を伸ばすにはどうしたらよいか、学ぶ。	学齢期までの子どもの運動能力の伸ばし方を調べる。	家庭と幼稚園/保育園・学校でできることを整理する。						
教科書・テキスト等	使用しない。			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	適宜資料を配付する。				筆記試験 平常点(行動観察)	1 0	内容理解※受験資格:3分の2以上出席 積極的な取組み(事前事後学修含む)			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1L2C08 教育学Ⅱ	藤田 泉	単独	2単位	こども学科 2年次	前期	選択			選択必修	ABF
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
主として人が思春期以降に体験する様々な教育的経験について具体例を通して学び、その教育的意義や今後の課題について考え、話し合い、大まかに理解する。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	この授業での学び方を理解する。思春期以降の人間にとっての学びのテーマにはどんなものがあるか、考える。	シラバスを読む。	履修法を確認し、思春期以降の学びについて整理する。	9	紛争や戦争をなくすための平和教育について学ぶ。	戦争をなくし平和を創り出すための教育の例を調べる。	紛争や戦争をなくすための平和教育について整理する。		
	2	仕事経験の教育的意義について知る。	自分の中・高の職場体験学習を振り返りまとめる。	自分のやりたいインターンシップを探す。	10	ジェンダーとは何かを理解し、女性や性的少数者が差別されやすい社会の構造と、差別をなくすための取り組みについて学ぶ。	ジェンダーによる差別をなくす教育の実践例を調べる。	紹介された映画を見て感想を書く。		
	3	政治的主権者を育てるためのシティズンシップ・エデュケーションについて学ぶ。	選挙権を行使するための情報収集の方法を調べる。	政治的主権者となるための学びについて整理する。	11	SDG s (持続可能な開発目標)とESD (持続可能な開発のための教育)について学ぶ。	SDG sとESDの身近な例を調べる。	SDG sとESDについて整理する。		
	4	お金を管理できるようになるための消費者教育について学ぶ。	消費者教育の必要性について調べる。	賢い消費者に必要な知識技術や生活様式を整理する。	12	日本にも増えているエスニック・マイノリティとはどのような人々かを知り、必要な教育支援とは何かを考える。	日本のエスニック・マイノリティの現状を調べる。	エスニック・マイノリティへの教育支援を整理する。		
授業の概要	5	ボランティア活動の教育的意義について学ぶ。	やってみたい実行可能なボランティア活動を調べる。	できるボランティア活動をしてみる。	13	異文化体験の教育的意義について学ぶ。	自分のこれまでの異文化体験を振り返って書く。	異文化体験の教育的意義について整理する。		
	6	地域の伝統文化の継承の教育的意義について学ぶ。	現住所付近の伝統文化で魅力的なものを探してみる。	地域の伝統文化継承の教育的意義について整理する。	14	アートを教育に生かす取組みを知る。	アートを教育に生かす取組みの身近な実践例を調べる。	アートを教育に生かす取組みの教育的意義について整理する。		
	7	新しい学校建築様式とワークショップ型の学びについて知る。	オープンスクール方式の学校と教育内容の例を調べる。	オープンスクールの教育内容とその意義を整理する。	15	第1回～第14回までの授業内容について意見交換をし(30分)、筆記試験を受ける(60分)。	第1回～第14回の授業内容の復習をする。	全15回の学びを整理する。		
	8	いじめとは何か、その防止・対策とアサーション・トレーニングについて学ぶ。	いじめの防止・対策の実践例を調べる。	いじめの防止・対策とアサーションについて整理する。						
教科書・テキスト等	使用しない。		成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等	適宜資料を配付する。			筆記試験 平常点(行動観察)	70% 30%	内容理解※受験資格：3分の2以上出席 積極的な取組み(事前事後学修含む)				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C13 情報演習Ⅰ	浅川 浩二	単独	2単位	音楽学科・こども学科 2年次	前期	選択		選択必修	選択必修	AD
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
インターネットの基本となる仕組みや、PC及びスマートフォンなどを利用したIT技術の習得によってデジタル表現の基礎を、情報化社会においてのリテラシーを身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	コンピューターの基本的な構造について ノイマン型コンピューターの原理	コンピュータの原理に関する予習	コンピュータの原理に関する復習	9	ウェブアプリケーションを利用した画像加工 スマートフォンによる画像加工アプリでの加工	アプリケーションのリサーチ	アプリケーションの機能の確認		
	2	コンピューターの歴史とOSの構造 OSの機能と説明	OSの成り立ちなどの予習	他のOSに関するリサーチ	10	画像加工演習1 ウェブアプリケーションによる画像加工演習	アプリケーションのインストール	画像加工の実践		
	3	ウェブメールの開設と利用法 Googleメール等メール開設	Googleサービスの全体像の把握	その他のGoogleサービスの把握	11	画像加工演習2 ウェブアプリケーションによる画像加工演習	自身で撮影した画像の加工	画像加工の実践		
	4	ウェブカレンダー検索技術について カレンダーシステムの実践	Googleカレンダーの確認	カレンダー入力等	12	画像加工演習3 ウェブアプリケーションによる画像加工演習	自身で撮影した画像の加工	画像加工の実践		
授業の概要	5	クラウドにおけるSNSサービスの実体 と演習 クラウドサービスとしてのSNSに関する講義	SNSの種類の確認	各種SNSへの登録	13	ウェブアプリを利用したOffice系アプリの説明 Officeアプリのクラウド化に関する講義	オフィスアプリの種類の確認	オフィスアプリの利用実践		
	6	Facebook利用法と概念の理解 Facebookの利用に関する講義と実習	Facebookの利用実績などのリサーチ	Facebookへの登録等	14	ワード系ソフトによる制作演習1 ワードソフト演習	文書作成の練習	文書内容の再確認		
	7	スマートフォンを利用した撮影技術の基礎とアプリケーション スマートフォンのカメラアプリによる撮影	カメラアプリの選択	アプリの使用実践	15	ワード系ソフトによる制作演習2 ワードソフト演習	作成内容の確認と修正	文書内容の再確認		
	8	画像加工に基礎知識 スマートフォンによる画像加工アプリの利用	画像の基礎的知識の予習	加工技術の実践	備考 ※教職課程履修は、情報演習Ⅰ・情報演習Ⅱより4単位必修					
教科書・テキスト等			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
参考書・参考資料等				課題/レポート 平常点 期末試験	50% 30% 20%	制作レポート プログ及びロゴ等制作物 課題提出 出席率及び授業態度 制作物 ウェブ・サイト等最終制作物の内容				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3C14 情報演習Ⅱ	浅川 浩二	単独	2単位	音楽学科・こども学科 2年次	後期	選択	選択必修	選択必修	選択必修	AD
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
情報演習Ⅰで学んだことを基本として、インターネットの活用やオフィス系のソフトの使用方法を習得することを目標とする。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	スマートホンの利用における情報の拡散について情報拡散の事実と方法論の講義	スマートホンによる情報の拡散とは何か	情報の持つ意味などの理解	9	エクセル実習2 エクセルの作成実習	方程式などの理解	方程式による作表実験		
	2	その他のスマートホンアプリケーションの実習 スマートホンによる実践的アプリの解説	各種アプリの確認	提示されたアプリなどによる実験	10	パワーポイントの基礎 プレゼンテーションのコンセプトワーク	プレゼンテーションの概念の理解	簡易的プレゼンテーションの実施		
	3	ブログ制作と書き込み演習1 ブログの作成	ブログの種類のリサーチ	ブログの修正	11	パワーポイント演習	実践的コンセプトの理解	制作したプレゼンテーションデータの修正		
	4	ブログ制作と書き込み演習2 ブログの作成	ブログの設置と書き込みの予習	ブログの修正	12	情報リテラシーのまとめ 情報を扱う意味と利益などについて	情報の持つ特性の予習	情報に関してのネガティブエフェクトの理解		
授業の概要										
ブログの作成実習やエクセル、パワーポイントなどの理解と実習をベースとしてコンピュータの利用における情報の取り扱い向上を目指す。	5	ネット上の音楽制作ソフトについて 作曲ソフト等の利用における制作実習	作曲ソフトのリサーチ	他のソフトなどによる実験	13	ネット上の著作権について ネット上の著作権に関する講義	著作権侵害事例などのリサーチ	著作権侵害事例などのリサーチ		
	6	音楽制作実習 作曲ソフト等の利用における制作実習	作曲方法などのリサーチ	他のソフトなどによる実験	14	制作実習1 最終課題の提示と実習	課題の再考	課題の制作		
	7	エクセルの基礎 エクセルの基礎的知識の講義	表計算の概念の把握	ウェブアプリケーションのエクセルによる実験	15	制作実習2 最終課題の提示と実習	課題の準備	課題の制作		
	8	エクセルによる図表の作成 エクセルの作成実習	図表等の作成	図表の変換などの実験	備考 ※教職課程履修は、情報演習Ⅰ・情報演習Ⅱより4単位必修					
教科書・テキスト等				成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					課題/レポート 平常点 期末試験	50% 30% 20%	制作レポート ブログ及びロゴ等制作物 課題提出 出席率及び授業態度 制作物 ウェブ・サイト等最終制作物の内容			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L3N10 音楽心理学	竹下 健太	単独	2単位	音楽学科・こども学科 2・3年次	後期	選択			必修	A B C E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
本講義を通して、音楽を心理学的に理解する枠組みを身につけることが到達目標である。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	音楽を観察法と実験法を用いて研究する方法を学修	音楽理論では解けない音楽に関する疑問を考へてみる	観察法に基づき「行動チェックリスト」等を作成	9	音楽による気分誘導効果等について学修	表現された感情と演奏者の実際の感情を聞きとる	心身の痛みを音楽で軽くする実験を自分でする		
	2	音楽を質問紙法と面接法を用いて研究する方法を学修	観察法で自分の音楽行動をデータ化する	観察法で得られた仮説を質問紙法か面接法で検証する	10	音楽の好みがかかる理由について学修	自分がある音楽をなぜ好きか考察	心理学を使って自分の好みの変化させてみる		
	3	周波数の多さを空間的次元の「高さ」で表現する不思議等について学修	音を聞いたときに感じる「高さ」について考察しておく	音高に関する様々な不思議について考察	11	音楽の記憶の視覚的、聴覚的、言語的、運動的表象について学修	耳が聞こえない人が音楽を楽しむ方法を考へてみる	自分の音楽の記憶がどの表象を主に使っているか考察		
	4	視覚的現象が聴覚領域で観察されることなどの不思議等について学修	メロディと非メロディの違いについて考察しておく	聴覚の群化・体制化とメロディの関係について考察	12	音楽の記憶の旋律的、リズム的、協和的側面について学修	旋律、リズム、協和について復習しておく	音楽の三要素に協和について復習しておく		
授業の概要										
本講義では、音楽心理学の研究手法から始まり、実際の練習方法への応用や、音楽が心身に与える影響までを学ぶ。	5	ある音とそれから1オクターブ上の音とは何かについて学修	「ド」の音が持つ「ド」らしさとは何かについて考察	周波数比だけでは説明がつかない音の不思議を考察	13	演奏と作曲における創造的側面について学修	音楽における創造性尺度を試作してみる	心理学を使って自分の創造性を高めてみる		
	6	リズムの主観性について学修	リズムとは何かについて自分の考へをまとめておく	内的クロックに適合しやすいリズムを一つ作る	14	音楽療法の歴史と主な理論について学修	音楽療法に関する本を一冊読んでおく	音楽療法とその他の心理療法の関連について考察		
	7	音の協和の物理学的及び心理学的側面について学修	協和音と不協和音の境目について考察しておく	なぜ協和音を心地よいと感じるか考察	15	これまでの授業を踏まえて実際に研究計画を考へし理解を深める	授業内容を踏まえて音楽心理学的仮説を考へし試作してみる	音楽大学で音楽心理学を生かす方法を考へる		
	8	和音と音色の不思議について学修	フルートの純粋さとヴァイオリンの豊潤さを聴き取る	いろいろな楽器がある理由を心理学的に考察	備考 ※音楽療法コース必修					
教科書・テキスト等	音は心の中で音楽になる(北大路書房)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					小レポート 期末レポート 授業態度・発言	70% 20% 10%	自分自身の問題として考察したか 主体的に調査及び考察したか 積極的に参加し、適切な発言をしたか			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1L2C12 英語コミュニケーション	栗林 圭子	単独	2単位	こども学科 1年次	後期	選択必修	必修	選択必修	必修	A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
保育園、幼稚園のみならず日常英会話としての表現を身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	What's your name? お名前は何ですか？	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習	9	Let's eat lunch! お昼を食べよう！	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習		
	2	Where are you from? どこから来たの？	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習	10	What do you want to do? 何したい？	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習		
	3	Good morning! おはよう！	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習	11	What do you have to do? 何をしなければならぬの？	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習		
	4	Are you OK? 大丈夫？	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習	12	I need to go potty. トイレに行きたい！	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習		
授業の概要										
保育園の現場を想定した場面にて、実際に使用するのと同じような多くのアクティビティを使い、楽しみながら繰り返し日常英会話の表現を学ぶ。	5	What are you doing? 何しているの？	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習	13	Good job! よくやったね！	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習		
	6	How are you feeling? どんな気分？	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習	14	Injuries and emergencies ケガと緊急事態	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習		
	7	What's she like? 彼女はどんな人？	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習	15	We're going to go outside. 外で遊ぼう	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習		
	8	Do's and don'ts していいことと悪いこと	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Check項目の復習						
教科書・テキスト等	Speaking of Childcare(南雲堂)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					平常点 (受講態度) 口述試験 筆記試験	30% 70%	授業への取り組み方など			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC1L2C13 英語	栗林 圭子	単独	2単位	こども学科 1年次	前期	選択必修		選択必修		A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
日常生活の中でよく起こる場面を、基礎的な文法事項を含んだ重要表現を繰り返し練習し、シンプルな英語でコミュニケーション出来る基礎を身につける。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	Welcome to L.A. be動詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit1	9	Moving Day 前置詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit9		
	2	I love Fruit! 可算名詞・不可算名詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit2	10	A Beautiful View 現在完了	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit10		
	3	Campus Life 一般動詞 (現在時制)	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit3	11	Sunday Fun 比較	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit11		
	4	Lunchtime 代名詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit4	12	Seeing Stars 疑問問文	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit12		
授業の概要										
夏のロサンゼルスを舞台に4人の若者が繰り広げる様々な場面の映像を通じ、実践的な英語を身につけるために、身近な語彙を増やし、発信に必要な基礎を確かにする。	5	First Date 一般動詞 (過去時制)	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit5	13	Buying Food for a BBQ 動名詞・不定詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit13		
	6	Where's Linda? 進行形	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit6	14	Putting on a New Face 接続詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit14		
	7	Andy's News will / be going to	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit7	15	Nice Surprises 受動態	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit15		
	8	Shopping in Santa Monica 助動詞	単元内の知らない単語の意味と発音を調べる	Review Quiz Unit8	備考 ※卒業要件として、英語、英語コミュニケーション、ドイツ語より4単位必修					
教科書・テキスト等	We Love L.A.!(金星堂)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					筆記試験 口述試験 平常点 態度・行動観察	60% 20% 20%	学修内容の理解 内容の充実、事項の理解 授業への取り組み方など			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L2T22 ドイツ語Ⅰ	岩佐 銘江	単独	2単位	音楽学科・こども学科 1年次	前期	選択必修			選択必修	A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
ドイツ語の響きに慣れ、正しい発音が出来ようになる。「聞く・話す・読む・書く」ことを通して文法を理解し、簡単な会話(挨拶や自己紹介)が出来ようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	ドイツ語の発音、挨拶の言葉、数字	シラバスを読む	挨拶の言葉を用いるようにする	9	名詞の複数形 買物の表現	L.4(名詞の複数形)を読む	名詞の複数形に慣れる 買物の表現に慣れる		
	2	人称代名詞と規則動詞の現在人称変化 自己紹介をする。ドイツの民謡	L.1(人称代名詞、規則動詞)を読む	規則動詞の人称変化に慣れる。自己紹介ができる	10	冠詞の種類と用法について(定冠詞類、不定冠詞類) 欲しいものを伝える	L.4(冠詞類)を読む	冠詞類の用法に慣れる		
	3	sein, haben動詞の人称変化。語順について 名前や出身地を尋ねる	L.1(sein, haben)を読む	sein, haben動詞の人称変化と語順に慣れる	11	否定冠詞keinと否定副詞nicht。ユーロについて ウィーンの音楽	L.4(keinとnicht)を読む	keinとnichtの用法に慣れる		
	4	名詞の性と冠詞。職業や専攻を表現する ドイツの国について	L.2(名詞の性・冠詞)を読む	名詞に慣れる	12	L.3, 4の復習 前置詞の種類	L.5(前置詞の格支配)を読む L.3, 4の復習	前置詞を理解する L.3, 4の復習		
授業の概要	5	名詞の格変化、ドイツの歌曲	L.2(名詞の格変化)を読む	名詞と冠詞の格変化に慣れる	13	前置詞の格支配 道順を尋ねる	L.5(前置詞の格支配)を読む	前置詞の用法に慣れる 道順を言うようになる		
日常的な会話や基本的な文法の学習と、ドイツ語圏の歴史や文化を通して、多面的にドイツ語の理解力・実践力を養います。また、西洋音楽の理解を深めるために、ドイツ語と音楽の視点からもドイツ語に触れていきます。	6	L.1, 2の復習 不規則変化動詞の現在人称変化	L.3(不規則動詞)を読む L.1, 2の復習	不規則変化動詞に慣れる L.1, 2の復習	14	前置詞と定冠詞の融合形 ドイツ語の音楽	Lektion5(前置詞の格支配)を読む	前置詞の用法に慣れる L.5の復習		
	7	命令形 趣味について語る	L.3(命令形)を読む	命令形に慣れる 趣味を語れるようにする	15	L.1~5の復習・まとめ	L.1~5の復習	L.1~5の復習		
	8	人称代名詞の3格と4格 非人称es。趣味を尋ねる ドイツ語の音楽	L.3(人称代名詞、非人称es)を読む	人称代名詞と人称esに慣れる	備考 ※卒業要件として、英語、英語コミュニケーション、ドイツ語より4単位必修					
教科書・テキスト等	「アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語 Deutsch A-Z」(朝日出版社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等				定期試験 平常点	70% 30%	筆記試験 提出物や授業への取り組み。小テスト。				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L2T23 ドイツ語Ⅱ	岩佐 銘江	単独	2単位	音楽学科・こども学科 1年次	後期	選択必修			選択必修	A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
「聞く・話す・読む・書く」ことを通して、初級文法を一通り理解する。語彙を増やし、正しい発音で、日常の出来事(予定や体験など)を語れるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	話法の助動詞の種類と現在人称変化 場所を尋ねる表現	シラバスとL.6(話法の助動詞)を読む	話法の助動詞を理解する	9	非分離動詞 週末の予定を語る	L.8(非分離動詞)を読む	非分離動詞の用法に慣れる		
	2	話法の助動詞を用いた表現 ドイツ語圏の音楽祭	L.6(話法の助動詞)を読む	話法の助動詞の用法に慣れる	10	zu不定詞 ドイツの食文化	L.8(zu不定詞)を読む	zu不定詞の用法に慣れる		
	3	未来形 やってみよう事を伝える	L.6(未来形)を読む	未来の助動詞werdenの用法に慣れる	11	L.7, 8の復習 動詞の3基本形 ドイツ語圏のコンサート	L.9(動詞の3基本形)を読む L.7, 8の復習	動詞の3基本形に慣れる L.7, 8の復習		
	4	従属の接続詞と副文 ドイツ語圏の国について	L.6(従属の接続詞と副文)を読む	従属の接続詞を使って副文を作れるようにする	12	現在完了形 週末の出来事を語る	L.9(現在完了形)を読む	現在完了形の用法に慣れる		
授業の概要	5	時刻の表現 天候について語る ドイツ歌曲と詩	L.6(時刻の表現)を読む	時刻の表現に慣れる	13	過去形 ドイツ語の音楽用語	L.10(過去形)を読む	動詞の過去形と過去人称変化に慣れる		
ドイツ語Ⅰに引き続き、日常的な会話や基本的な文法の学習と、ドイツ語圏の歴史や文化を通して、多面的にドイツ語の理解力・実践力を養います。また西洋音楽の理解を深めるために、ドイツ語と音楽の視点からもドイツ語に触れていきます。	6	L.6の復習 形容詞の使い方と格変化	L.7(形容詞の格変化)を読む L.6の復習	形容詞の用法を理解する L.6の復習	14	再帰代名詞と再帰動詞 ドイツの文化 L.9, 10の復習	L.10(再帰動詞)を読む L.9, 10の復習	再帰動詞の用法を理解する L.9, 10の復習		
	7	形容詞・副詞の比較 レストランで注文する時の表現	L.7(形容詞・副詞の比較)を読む	比較表現に慣れる	15	L.6~10の復習・まとめ	L.6~10の復習	L.6~10の復習		
	8	分離動詞 クリスマスの音楽	L.8(分離動詞)を読む	分離動詞の用法に慣れる	備考 ※卒業要件として、英語、英語コミュニケーション、ドイツ語より4単位必修					
教科書・テキスト等	「アー・ツェット 楽しく学ぶドイツ語 Deutsch A-Z」(朝日出版社)			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等				定期試験 平常点	70% 30%	筆記試験 提出物や授業への取り組み。小テスト。				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC2L3C16 保健体育理論	石岡 ひろみ	単独	1単位	こども学科 1年次	後期	選択			必修 選択必修	A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
健康に関する多面的な学びから自分自身を振り返り、より健康で豊かなライフスタイルに繋げることができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修						
	1	現代生活における健康 ・オリエンテーション ・生涯スポーツ、食生活について学ぶ	シラバスの内容を確認しておく	8回の流れを確認する						
	2	現代社会と健康① ・睡眠、休養、ストレスについて学ぶ	自分の睡眠・休養を振り返りまとめておく	睡眠、休養、ストレスについて整理する						
	3	現代社会と健康② ・飲酒、喫煙、薬物乱用について学ぶ	飲酒・喫煙・薬物乱用の弊害を調べておく	飲酒、喫煙について学んだことをまとめる						
	4	現代社会と健康③ ・感染症、コミュニケーション（情報）について学ぶ	コミュニケーションを豊かにする方法を調べておく	感染症についてまとめる						
授業の概要										
心身の健康の保持・増進のために、現代社会における健康、生涯に亘る健康についての理解を深める。	5	生涯に亘る健康① ・キャリア、結婚、家族、加齢について学ぶ	仕事や家族のあり方について私見をまとめておく	自身のライフプランを考えてみる						
	6	生涯に亘る健康② ・環境問題について学ぶ	環境問題に関する新聞記事やニュースを探しておく	環境問題の学びを整理する						
	7	現代生活における健康について① ・学修したことを振り返り、テーマを絞ってまとめる	発表の準備を完全にしておく	課題を見つけ調べたり考察したりする						
	8	現代生活における健康について② ・より健康な生活のために課題を見つけ、研究考察したことを発表する	発表の準備を整えておく	これまでの学修したことを振り返る						
教科書・テキスト等			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
				課題発表 課題追求	50% 30%	課題発表の内容 課題への取り組み				
参考書・参考資料等	適宜、資料・プリント配付			平常点（態度・取り組み）	20%	積極的な取り組み				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L1C18 体育実技 I	石岡 ひろみ	単独	1単位	音楽学科・こども学科 1年次	前期	必修	必修	必修	選択必修	A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
自分自身の体力を知り、全身運動・リズム運動・軽スポーツにチャレンジする。生涯に亘る健康づくりの基礎的な実技力を獲得する。各種の運動を楽しむことで体力の維持・増進を図り、生涯に亘る健康づくりの基礎を身につけることができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	・オリエンテーション ・みんなでラジオ体操第一 ・レクリエーションゲーム/屋外活動	シラバスの内容を確認しておく	ラジオ体操第一を復習する	9	・ラジオ体操第三に取り組む ・フットワークを考え楽しむ ・グループゲームを楽しむ	ラジオ体操第三について調べる	ラジオ体操第三について調べる		
	2	・みんなでラジオ体操第二 ・リズム運動で体をほぐす ・ウォーキングを楽しむ/屋外活動	ラジオ体操第一、第二の動きを確認しておく	ラジオ体操第二を復習する	10	・ラジオ体操第三の構成を覚える① ・リズム運動で体をほぐす ・グループゲームを考え実践する	グループゲームについて考えておく	解説図を基にラジオ体操第三の動きを確認する		
	3	・屋外活動 ・ウォーキングを楽しむ ・伸び伸びと全身運動を行う	ウォーキングを楽しむ準備をしておく	使った部位のストレッチを行う	11	・ラジオ体操第三の構成を覚える② ・軽いランニングを行う ・ストレッチを考え実践する	ストレッチについて考えておく	解説図を基にラジオ体操第三の動きを覚える		
	4	・ラジオ体操第一を確実に行う① ・ストレッチを考え実践する ・バドミントンを楽しむ/屋外活動	屋外でバドミントンができる様準備しておく	バドミントンで使った部位のストレッチを行う	12	・ラジオ体操第三が確実にできる① ・リズム運動を考え実践する ・ボールゲームを楽しむ	リズム運動について考えておく	ラジオ体操第三を復習する		
授業の概要										
各目の体力に合わせ、楽しくリズムカルに且つ積極的に軽スポーツを行う。人格形成の見地より、仲間と協力して準備・片付けを行い、運動を通してコミュニケーション能力を高める。また、それぞれがリーダーシップを発揮し、主体的に運動に関わるようにする。	5	・ラジオ体操第一を確実に行う② ・軽いランニングを考え実践する ・ルールを考えバドミントンを行う/屋外活動	ラジオ体操第一の動きを確認しておく	ラジオ体操第一を行う	13	・ラジオ体操第三が確実にできる② ・軽いランニングを各自行う ・ボールゲームを考え実践する	ボールゲームについて考えておく	ラジオ体操の効果について整理する		
	6	・ラジオ体操第二を確実に行う① ・リズム運動で体をほぐす ・ルールを考えバドミントンを楽しむ/屋外活動	ラジオ体操第二の動きを確認しておく	バドミントンのルールを整理しておく	14	・リズム運動で体をほぐす ・グループ活動を通して課題に取り組む	グループ活動について考えておく	課題を整理しておく		
	7	・屋外活動 ・ウォーミングアップ ・ウォーキング、全身運動を楽しむ	体調を整え、学修内容の確認をしておく	使った部位のストレッチを行う	15	・ウォーミングアップ、軽いランニングを行う ・課題について、グループ発表をする	体調を整え、グループ発表の準備をしておく	これまでの学修をまとめる		
	8	・ラジオ体操第三を確実に行う② ・ウォーミングアップを考え実践する ・グループゲームにチャレンジする/屋外活動	ウォーミングアップの内容を考えておく	ラジオ体操第二を行う						
教科書・テキスト等			成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント				
				期末テスト(実技) 課題	40% 40%	個別の習熟度 課題への取り組み				
参考書・参考資料等	適宜、資料・プリント配付			平常点（取り組み）	20%	体力を把握した積極的な取り組み				

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L1C19 体育実技ⅡA	石岡 ひろみ	単独	1単位	音楽学科・こども学科 1年次	後期	必修	必修	必修	選択必修	A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授業計画									
自分自身の体力を知り、全身運動・リズム運動・軽スポーツにチャレンジする。生涯に亘る健康づくりの基礎的な実技力を獲得する。各種の運動を楽しむことで体力の維持・増進を図り、心身ともに健康で豊かな学生生活を実現に向けて実践することができる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	・オリエンテーション ・リズム運動及びフットワークを行う、軽スポーツを楽しむ	シラバスの内容を確認しておく	フットワークを整理しておく	9	・屋外活動 ・基礎代謝が高まるウォーキングを実践する ・伸び伸びと全身運動を楽しむ	基礎代謝と運動について確認しておく	ウォーキング後のストレッチを十分に行う		
	2	・リズム運動で体をほぐす ・自身の体力に合わせてウォーキングを行う/屋外活動 ・手を使った運動を楽しむ	ウォーキングによる効果を調べておく	使った部位のストレッチを行う	10	・ストレッチ ・有酸素運動とは ・有酸素運動にチャレンジ	有酸素運動について調べておく	有酸素運動の効果をもとめる		
	3	・ラジオ体操第一を効果的に行う ・巧緻性を高めるフットワークを行う ・手を使った運動を考え実践する	ラジオ体操第一の効果について考えておく	ラジオ体操第一の効果を復習する	11	・ラジオ体操第一を通して静的ストレッチを実践する ・有酸素運動をする ・ゲーム性のある運動で調整力を養う	ラジオ体操第一を通して得られるものを考えておく	静的ストレッチについてまとめる		
	4	・ラジオ体操第二を効果的に行う ・リズム運動で体をほぐす ・バドミントンのラリーを楽しむ/屋外活動	ラジオ体操第二の効果について考えておく	ラジオ体操第二の効果を復習する	12	・ラジオ体操第二を通して動的ストレッチを実践する ・有酸素運動を楽しむ ・クールダウン	ラジオ体操第二を通して得られるものを考えておく	動的ストレッチについてまとめる		
授業の概要	5	・ラジオ体操第三を効果的に行う ・フットワークを考え実践する ・バドミントンのラリーが続くよう工夫する/屋外活動	ラジオ体操第三の効果について考えておく	ラジオ体操第三の効果を復習する	13	・ラジオ体操第三のやや複雑な動作が説明できるようになる ・グループ毎に長縄跳びを楽しむ	ラジオ体操第三を通して得られるものを考えておく	使った部位のストレッチを行う		
	6	・屋外活動 ・基礎代謝が高まるウォーキングを楽しむ ・伸び伸びと全身運動	基礎代謝について調べておく	基礎代謝と運動についてまとめる	14	・ストレッチ ・体幹トレーニングを考え実践する ・長縄跳びでグループ毎の課題にチャレンジする	よりよいグループ活動について考えておく	課題を整理しておく		
	7	・ラジオ体操を効果的に行う ・リズム運動を考え実践する ・バドミントンダブルスのゲームを楽しむ/屋外活動	ラジオ体操の効果について確認しておく	ラジオ体操第一～三を通しての効果をもとめる	15	・フットワーク、リズム運動を行い、軽スポーツのまとめをする ・課題について、グループ発表をする	課題発表の準備をする	半期の学修を振り返りまとめる		
	8	・ラジオ体操を効果的に行う ・体幹トレーニングを行う ・手を使ったグループゲームを楽しむ	体幹トレーニングについて調べておく	体幹を鍛えるための有効な運動についてまとめる						
教科書・テキスト等				成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等	適宜、資料・プリント配付				期末テスト(実技) 課題	40% 40%	個別の習熟度 課題への取り組み			
					平常点(取り組み)	20%	体力を把握した積極的な取り組み			

科目名	担当者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
MC1L1C19 体育実技ⅡB	長江 美佳	単独	1単位	音楽学科・こども学科 1年次	後期	必修	必修	必修	選択必修	A B C D E F
授業のテーマ及び到達目標	授業計画									
ダンスの基本的技術・知識を身に付け、音楽に合わせて仲間と一緒に踊り、ダンスの創作・発表ができるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション リズムトレーニング	シラバスを熟読する	本時で学び得たことをまとめる	9	ストリートダンス ジャンル③-2	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる		
	2	リズムトレーニング	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	10	ストリートダンス ジャンル④-1	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる		
	3	リズムトレーニング	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	11	ストリートダンス ジャンル④-2	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる		
	4	ストリートダンス ジャンル①-1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	12	まとめ 振付け	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる		
授業の概要	5	ストリートダンス ジャンル①-2	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	13	まとめ 振付け練習	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる		
自分自身の体力を知り、ダンスの種類を知る。人間形成・人格形成といった視点に立ち、ダンスを通して、仲間と協力し準備・運動をしながらコミュニケーション能力を養う。	6	ストリートダンス ジャンル②-1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	14	まとめ 振付け練習	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる		
	7	ストリートダンス ジャンル②-2	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる	15	発表 まとめ	発表に向けた準備	本時で学び得たことをまとめる		
	8	ストリートダンス ジャンル③-1	体調を整え、準備物の確認をしておく	本時で学び得たことをまとめる						
教科書・テキスト等				成績評価基準	評価方法	割合(%)	評価のポイント			
参考書・参考資料等					期末試験 平常点(態度)	80% 20%	学んだ成果を十分に発揮しているか 意欲的に練習に取り組んでいるか			